

- 高いブランド力を誇るさくらんぼの農家数の減少や、観光シーズンと重なるため、加工用の果物などは収穫されない等が観光農業の課題が散見されていた。
- 集中する観光シーズンにおける観光農園・農業従事者を確保しながら、地域内滞在時間の増加を目指すこととして、「知らない土地での暮らし体験」と「誰かの役に立つ」喜びを感じる「glad（喜び・感謝）・ツーリズム」を推進することとし、農観連携による地域課題の解決を目指す取り組みを実施した。
- 今年度中に次年度の農作業体験予約を直接農家に行う人が現れた他、数週間単位で滞在し、農作業を行う旅行者が出るなど大きな効果があった。

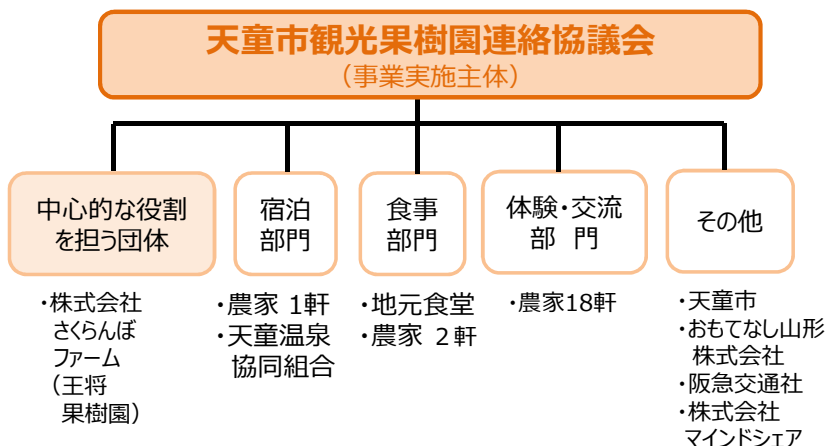
山形県山形市



【採択年度】
平成30年度

【事業実施期間】
平成30～令和元年度

【実施体制】



【取組内容】

- ①体験プログラム数
- ・さくらんぼ10プログラム
 - ・ラ・フランス10プログラム
 - ・りんご10プログラム
 - ・ぶどう10プログラム
- 合計 40プログラム開発

- ②延べ宿泊数
- ・1人×90日 = 90人泊：農家の持ち家泊
 - ・94人×5泊 = 470人泊
 - ・33人×3泊 = 99泊
- = 659人泊

- ③モニターツアーの実施状況
- ・さくらんぼ10プログラム×95人 = 950人
 - ・ラフランス10プログラム×33人 = 330人 = 1280人参加

- 「知って」もらう機会の創出に係る取組内容及び実績
- ・募集広告：8月27日産経新聞2段66万部
 - ・会員用メールマガジンによる募集告知 71万部
 - ・募集公告：下野新聞9月9日 2.5段 30万部
 - ・募集告知：夏のさくらんぼツアー参加者へのDM (95通)
 - ・その他、山形新聞、山形テレビなどメディアでも紹介、



【特徴的な取組】

- ①農泊農家募集、実施検討
 - 1) 検討会
 - 2) 農家募集、チラシ作成、ヒアリング等
- ②天童式glad・ツーリズム（長期滞在型観光農園体験プログラム）づくり & モニターツアー実施
 - 1) プログラム作成、商品化（商品造成）
 - ⑦収穫・選果、⑧葉摘み・玉まわし、等
 - 2) 天童式gladツーリズム募集広告制作
- ③天童式glad・ツーリズム推進体制整備
 - 1) 検討会の開催
 - 2) マニュアル作成
 - 3) 旅行会社での旅行者向けPR

↓脚立も利用し安全に
収穫作業を体験



宿泊施設のオリエンテーション



ぶどうの選果作業



収穫されたラフランス

インバウンド対応状況（青：対応）

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約
Wi-Fi	WC	¥	Globe	Aa	Globe